

# エネルギーロードマップ第3版 第2回会議

【日 時】平成26年6月21日(土)9:30~16:30 (10:00-16:00 から前後変更)  
(参考:幹事会 17:00~18:00)(変更)

【会 場】東京工業大学 田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 204号室  
JR 田町駅 芝浦口(東口)、徒歩1分、〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6  
[http://www.tamachi.jim.titech.ac.jp/cic/cic\\_access.html](http://www.tamachi.jim.titech.ac.jp/cic/cic_access.html)

【主 催】化学工学会 戦略企画センター 次世代エネルギー社会検討委員会(次世代委)

【開催趣旨】化学工学会より次世代委が中心となり、エネルギーロードマップを2005、2010年[1,2]に続く第3版を2015年秋、英文での発刊を計画しております。今回は著者候補が集まり、出版方針の確認、また著者各自のエネルギー技術のロードマップ構想を確認いたします。ご参集をお願いいたします。

## 【追記】

### プログラム(暫定)

6月21日(土)

9:30-9:40 加藤之貴(Editor-in-Chief)概要説明  
9:40-10:00 古山通久(Editor)本書の構成と執筆に関する説明  
10:00-11:40 著者説明(著者アンケート説明5分+質疑応答5分)×10名  
11:40-12:40 昼食  
13:00-16:00 著者説明(著者アンケート説明5分+質疑応答5分)×18名  
16:00-16:30 全体打合せ

(1) 参加申込: 6月16日(月)13:00までに、ご氏名、氏名フリガナ、所属、電子メールアドレス、6/21本会議(参加/欠席)、6/20学術会議シンポジウム(参加/欠席)、6/20意見交換会(参加費5,000円)(参加/欠席)をメール表題「ER3」として [madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp) 宛に回答願います。

(2) 意見交換会: 6月20日(金) 18:00- 歓迎いたします。別紙3の地図を参照ください。  
<http://tabelog.com/tokyo/A1307/A130701/13027623/dt/menu/course/>

(3) 著者アンケート(別紙1): 6月16日(月) 13:00までに古山、大泉に送信頂ければ、事務局で印刷をいたします。宛先: 古山、[koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp)、CC: 大泉、[madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp)

## 【企画内容と依頼事項】

(1) 添付しました、著者アンケート(別紙1)を記入頂き、当日、40部を印刷して持参願います。当日、10分程度で内容をご説明頂き、その後、質疑応答を予定しております。(別紙1)

(2) 前日、6/20 に本ロードマップに関連する日本学術会議主催シンポジウム(13:00-17:00、無料)を開催します。合わせてシンポジウム主催・次世代委関係者と著者候補者との意見交換会(18:00-19:30、参加費 5,000 円)を行います。是非、ご参加をご検討願えれば幸いです。(別紙 2)

加藤之貴(東工大)、ロードマップ第3版編集委員長、次世代委委員長

【参加方法・予備意向調査】 参加申込は電子メールにて [madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp) 宛にご氏名、氏名フリガナ、所属、電子メールアドレス、6/21 会議(参加/欠席)、6/20 シンポジウム(参加/欠席)、6/20 意見交換会(参加費 5,000 円)(参加/欠席)、「執筆予定の原稿タイトル(日・英)」をメール表題「ER3」として 6 月 9 日(月)17:00 までにご連絡願います。ご欠席の場合には著者アンケートを送信願えると幸いです。

【参加費】 会議、シンポジウムは無料。意見交換会は 5,000 円

【お問合せ】 化学工学会 次世代エネルギー社会検討委員会事務局 大泉  
(東京工業大学原子炉工学研究所加藤研究室) Tel 03-5734-2967  
[madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp)

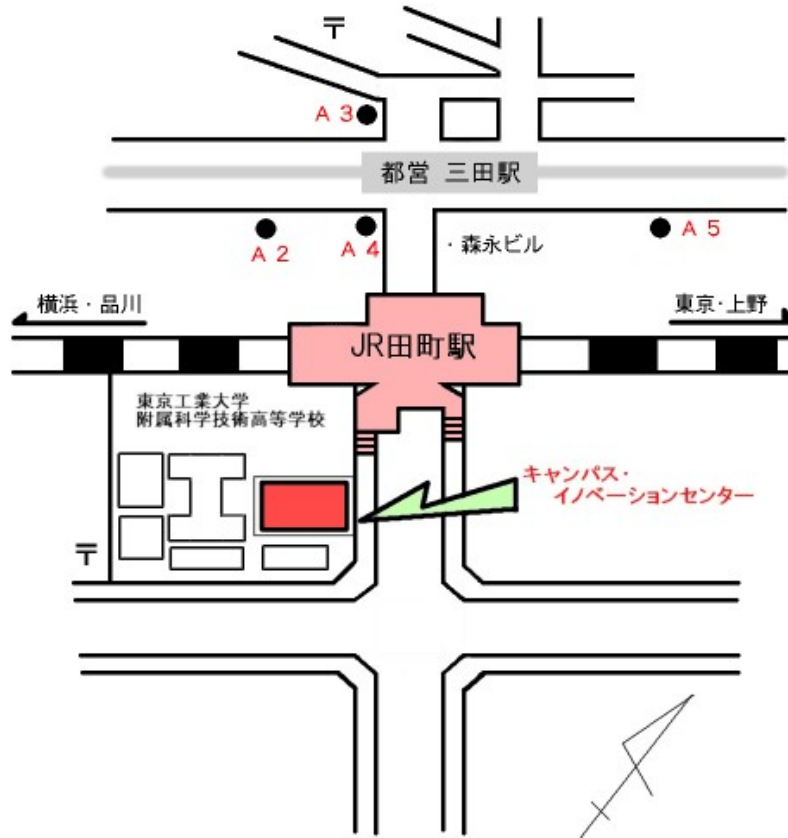
[1] 亀山秀雄、加藤之貴編著 “骨太のエネルギーロードマップ”、化学工業社、(2005)

[2] 加藤之貴、安永裕幸、柏木孝夫監修 “実装可能なエネルギー技術で築く未来—骨太のエネルギーロードマップ 2—”、化学工業社、(2010)

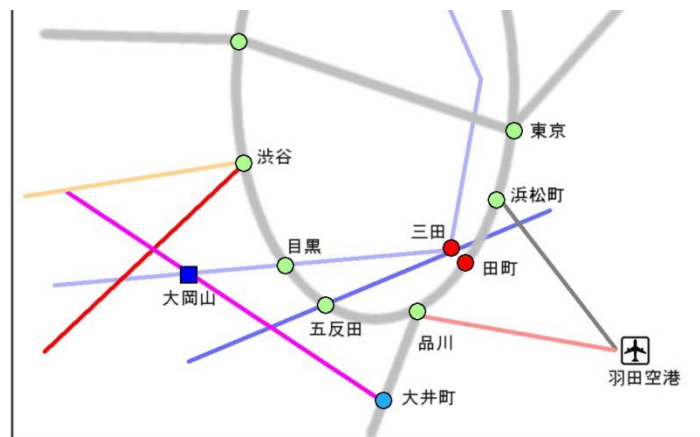
\*化学工学会次世代エネルギー社会検討委員会:H24 に発足した当委員会では、化学工学を軸足とした専門家集団として、エネルギーの技術や選択肢にかかる情報や論点を網羅的に整理し、次世代エネルギー社会に適したエネルギー技術の利用可能性と研究課題について論理的整合性、客観性の高い議論の場を提供していきます。得られた技術情報は再利用可能な形で整理し、個人・組織・社会のエネルギーとの関わり方の指針として提供する産学公民への情報発信を目指しております。部会ヒアリングを通して、手始めに、テーマ1: エネルギーストレージ、テーマ2: エネルギーシステムの新設・保全・診断・運用・更新を選定し検討を進めております。

### 6/21 研究会会場案内

東京工業大学 田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 204 号室  
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6、[http://www.tamachi.jim.titech.ac.jp/cic/cic\\_access.html](http://www.tamachi.jim.titech.ac.jp/cic/cic_access.html)  
○JR 山手線・京浜東北線 田町駅 芝浦口(東口)徒歩 1 分、○都営三田線・浅草線 三田駅下車  
徒歩 8 分、※当センターには駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



田町駅から会場(キャンパスイノベーションセンター)



東京各地から JR 田町駅まで

追記： (1) 2 ページ程度を推奨

(2) 6/16(月) 13:00 までに古山、大泉に送信頂ければ、事務局で印刷をいたします。古山、[koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp)、CC:大泉、[madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp)、

{アンケート作成、問合せ：古山通久（九大）、第 3 版編集委員、[koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp)。以下をご記入頂き、6/21 に 40 部印刷持参願います。各項の行数、ページ数は自由です。できる範囲で結構です。欠席の場合には、古山、[koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:koyama@ifrc.kyushu-u.ac.jp)、CC:大泉、[madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp)、に 6/13（金）までに電子送信願います。}

xxxxxxxxxxx ここまでの行を削除し、印刷してください xxxxxxxxxxxxx

## エネルギーロードマップ第 3 版 著者アンケート

表題（英語）：

著者（候補）名（和名/英名）：

所属（和名/英名）：

技術の概要：

導入分野・箇所：

2050 年における技術の量的な貢献：

（例（効率向上や GHG 排出原単位削減）×（潜在的導入量））

技術導入の律速要因：

(a) 速度・熱力学・材料・システム、効率、耐久性、価格、信頼性 etc.

(b) （希少）資源（例：モーターにおける Dy、燃料電池における Pt）

(c) 環境・健康・安全の観点に関する要因（例、有毒物質の使用、安全管理の徹底）

(d) 競合技術およびそれらの進展見込み

(e) 必要とされる社会基盤（生産可能予測量（年産）、生産実現や燃料供給に必要な社会インフラなど）・カギとなる原料等のサプライチェーン

(f) 社会受容性

(g) 関連法制度

以上

## 公開シンポジウム

# 科学技術者と考えるこれからのエネルギー ～化学の夢を明日のエネルギーと社会につなげる工学～

(開催趣旨)

次世代のエネルギーシステムをどのように設計し、実現するかは、我が国のみならず、世界的に極めて重要な論点となっている。そのためには、科学的視点に基づく客観的かつ長期的な展望が必要である。加えて、経済性、安定供給、環境適合性や安全性確保といったエネルギーシステムが満たすべき要件の間に存在するトレードオフを打破するための技術革新や制度設計が重要である。

本シンポジウムでは、様々なシナリオの下でのエネルギー需給見通しやエネルギーシステムの課題、これまでの技術開発事例や、現在の研究開発の推進状況を踏まえたうえで、今後、研究開発や技術導入を促進する方策は何か、研究開発を進めるべき技術をどのように特定するか、次世代のエネルギーシステムの設計や実現のために科学技術者はどこまで何に貢献できるのかについて議論し、認識を共有する。特に、日本が強みを有する化学から生まれた夢ある技術を、工学の力で社会に実装し、豊かで安心な暮らしを可能とするための道筋や隘路について考えていきたい。

日 時：平成 26 年 6 月 20 日（金）13:00～17:00（開場 12:30）

会 場：日本学術会議講堂 東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線乃木坂駅 5 出口  
プログラム：

13:00 開会

開会挨拶 北川 尚美（東北大学、日本学術会議連携会員）

13:10 日本のエネルギー戦略における技術革新と国際展開

岡崎 健（東京工業大学、日本学術会議第三部会会員）

14:00 化学と工学の視点から考える研究シーズと社会実装

松方 正彦（早稲田大学）

（14:50～15:00 休憩）

15:00 次世代エネルギー社会における科学技術の役割と政策の役割

植田 和弘（京都大学）

15:50 次世代エネルギー社会に向けた根拠に基づく議論と技術実装への挑戦

古山 通久（九州大学）

16:30 総合討論 藤岡 恵子（(株)ファンクショナル・フルイット<sup>®</sup>、日本学術会議連携会員）

16:50 閉会挨拶 加藤 之貴（東京工業大学、化学工学会次世代エネルギー社会検討委員会委員長）

17:00 閉会

一般公開、入場無料、当日受付可、 問い合わせ先：[naomi@rpel.che.tohoku.ac.jp](mailto:naomi@rpel.che.tohoku.ac.jp)

---

主催：日本学術会議化学委員会触媒化学・化学工学分科会  
公益社団法人化学工学会

## 6/20 学術会議シンポジウム&エネルギーロードマップ著者合同意見交換会 会場のご案内

6月20日(金) 18:00-19:30、参加費 5,000 円

韓国伝統家庭料理 韓 (カン)

Tel 03-3408-7581

東京都港区赤坂 9-6-26 フォンテ六本木 1F

交通手段 乃木坂駅から 222m

<http://tabelog.com/tokyo/A1307/A130701/13027623/dlmenu/course/>

参加申込は 6 月 16 日(月)13:00 までに、ご氏名、氏名フリガナ、所属、電子メールアドレス 6/20 意見交換会(参加費 5,000 円)(参加/欠席)をメール表題「ERM3」として [madoka@nr.titech.ac.jp](mailto:madoka@nr.titech.ac.jp)宛に回答願います。

